

第4回 武蔵村山市長期総合計画市民懇談会
次 第

日時：平成21年9月8日（火）
午後7時から
場所：401大集会室

1 報告

(1) 第3回長期総合計画市民懇談会の会議要旨について

2 議題

(1) 部会討議

【都市・生活・産業部会】「環境・景観 / 都市基盤について」

「防災・安全について」

【福祉・教育・文化部会】「教育・文化について」

「交流について」

(2) 部会討議内容の紹介及び意見交換

(3) その他

(配布資料)

資料1 「第3回市民懇談会 / 部会別意見交換会要旨」

第3回市民懇談会 / 部会別意見交換会要旨

開催日時 : 2009年8月4日 19時~21時
開催場所 : 武蔵村山市役所 4階会議室

全体に関すること

主な意見

今の総合計画 - どの都市でも通用する内容ではないか
武蔵村山らしい部分の表現が必要
10年後の村山をイメージしていくなかで、人口などがどのようなことが想定されているのかわからないと難しいのではないか
開発の抑制なのか 賑わいの創出なのか 緑の保全なのか
各施策事業の進捗率がわからないと、意見を出しにくいのではないか。
計画を策定するにあたり、検証していくことも踏まえて、目標値を設定していくことも必要ではないか

- A (都市・生活・産業部会) グループ -

出席者 : 細井部会長・石塚座長・柳下委員・波多野委員・花田委員
検討内容 : 1 土地利用 (1) 市全体の土地利用 / (2) 都市基盤整備
: 2 産業 (1) 農業 / (2) 工業 / (3) 商業
(4) 観光 / (5) 雇用
: 3 環境景観 (1) 自然環境の保全 / (2) 生活環境の保全
(3) 水とみどりのネットワーク / (4) 都市景観
(5) ごみ処理とリサイクル / (6) 公害対策と環境美化
: 4 都市基盤 (1) 道路・交通 / (2) 公園・緑地
(3) 住宅・宅地 / (4) 上下水道

1. 土地利用 / (1) 市全体の土地利用

テーマ・都営村山団地について

主な意見

高齢化が進むなか、都営団地のあり方についても考える必要があるのではないか。
公営住宅としてのみ整備していくのか、民間に分譲していくのか

具体的な提案

1. 土地利用 / (1) 市全体の土地利用	
テーマ	・新旧の青梅街道沿道の土地利用について
主な意見	新青梅街道は現状では一部が近商地域で、その他は一種住居地域となっている。 高層建築がないことが武蔵村山らしさではないか。
具体的な提案	メリハリをつけて土地利用を行う。(自然を守るところ、効果的に利用するところ) 新青梅街道沿道は一部を除き一住となっているが、将来について有効活用を考え、高度利用の可能性を探る。しかし景観を阻害するような高層にはしない。 新青梅、旧青梅街道の性格づけを行い、今後はそれをもとに沿道まちづくりの検討をしていく。(新：車中心、大型店舗を活用/旧：人中心、昔ながらの商店を活用)
テーマ	・総合体育館北側の土地の有効活用
主な意見	現在は体験学習広場(キャンプ場など)として利用し、暫定利用となっているようだ。
具体的な提案	今後の利用方法については市民も一緒になって、提案していく必要がある。 オーナー制の植樹を行えるようにしてはどうか 市民による管理をしていってはどうか。
テーマ	・
主な意見	
具体的な提案	

1. 土地利用 / (2) 都市基盤整備	
テーマ	・多摩都市モノレールについて
主な意見	延伸の可能性はあるのか。現状としては可能性は低いのではないか
具体的な提案	市の活性化や人の動線を確保という点からもモノレールの延伸は重要になる。

1. 土地利用 / (2) 都市基盤整備	
テーマ	・ 3つの核について
主な意見	<p>市内に核となるような場所がないのが問題である。</p> <p>市内に3つの核がはたして必要になるのか。</p> <p>地域のバランスという視点からみると中央・東・西ということになるのではないか。</p> <p>サブ核（西部地区）等については、進捗状況など最新の情報が必要ではないか。</p>
具体的な提案	<p>市の活性化やこれまでの方向性としても3つの核の整備が必要になる</p>
テーマ	・ 新青梅街道について
主な意見	<p>公共交通の普及も進まないなか自転車は市民の足となっている。しかし、新青梅街道は自転車で走るには危険である。</p> <p>新青梅街道については東京都に頼る部分になってしまう。しかし、身近な道路についても同様の事がいえる。</p>
具体的な提案	<p>都道であっても、利用する市民の視点から提案できる検討の場を設けてはどうか。</p> <p>安心して歩行、通行ができる新青梅街道の道路整備が必要ではないか。</p> <p>市民の生活道路である身近な道路整備が必要ではないか。</p>
テーマ	・
主な意見	
具体的な提案	

2. 産業 / (1) 農業	
テーマ ・農地について	
主な意見	生産されていない農地があるようだが、そうならば別の利用方法があるのではないか。 秋に向けた休養地であるので、農地として利用されていないわけではない。
具体的な提案	
テーマ ・	
主な意見	
具体的な提案	

2. 産業 / (2) 工業	
テーマ ・工場の誘致について	
主な意見	大型トラックの通れる道路がないため、工場誘致などに繋がっていないのが現状ではないか 市が主体的におこなえることがあるのではないか。
具体的な提案	工業地域としていくための環境整備などが必要になる
テーマ ・市の地域ブランド等について	
主な意見	市内には様々な工業関連の会社があるが、特に接点はないのではないか。 市がサポートということで援助できる体制をつくってはどうか。
具体的な提案	異業種間交流や市民から意見を募り、市内でアイデア製品や、商品開発などをしてはどうか。 障害者用の椅子、村山大島紬の活用など

2. 産業 / (3) 商業	
テーマ	・市民ニーズについて
主な意見	イオンモール内の大きなテナントの撤退後には、大型電気店の施設になるようである。果たしてそれは市民ニーズにあっているのか。 高齢化などの問題などに対応した商店などの配置があるのではないか。 市内の商業のためには、店舗間競争による活性化が必要ではないか。
提案内容	市民ニーズにあった施設誘致の要請をしていくことが必要ではないか 半径 250m くらいの場所に日用品などの生鮮三品の店舗が存在できるような環境整備が必要ではないか。(大型商業施設を拠点として、小拠点を点在させる)
テーマ	
主な意見	
提案内容	

2. 産業 / (4) 観光	
テーマ	・イベントの実施
主な意見	観光資源である野山北公園などもあるが、アクセスが悪い。
具体的な提案	野山北公園周辺のウォーキングイベントを拡大(西武鉄道と連携も検討) 観光資源を点(スポット)として捉えるのではなく、広がりのあるゾーンとして捉えていく。 観光資源と駅を結ぶところに“あじさいロード”としてその行き帰りも楽しんでもらう仕掛けをつくる(市民の協力が必要)
テーマ	・身近な観光資源の活用
主な意見	市民の生活などの身近なものも観光資源となるのではないか。
具体的な提案	「暮らしを見る」をテーマに新たな観光スタイルを考えてはどうか。

2 . 産業 / (4) 観光
テーマ ・拠点を活用
<p>主な意見</p> <p>市内にいくつかの拠点があるが活用されていない。 案内などPR不足のため、一つの場所にしか滞在してくれないのではないかと。連動することが必要ではないか。</p>
<p>具体的な提案</p> <p>いくつかの拠点を中心に回遊ネットワークをつくり、またそれをPRしていくシステムをつくる。 イオンモールにレンタサイクルを置き、自転車で回遊してもらおう。(野山北公園など) 起点となる拠点施設(イオンモール)などに、観光案内サインを置き、周遊できるようにする。(国分寺などを参考にしてみよう) イオンモール内に市をPRする施設をつくってはどうか。 拠点施設(イオンモールなど)までのアクセスを充実させる。</p>
テーマ
<p>主な意見</p>
<p>具体的な提案</p>

2 . 産業 / (5) 雇用
テーマ
<p>主な意見</p>
<p>具体的な提案</p>

3 . 環境・景観 / (1) 自然環境の保全
テーマ ・狭山丘陵について
主な意見
具体的な提案 狭山丘陵については、従来通り自然を守っていく事が必要である。現在でも貴重な観光資源であるが、より有効に活用できるよう考えていく必要がある。
テーマ ・
主な意見
具体的な提案

3 . 環境・景観 / (2) 生活環境の保全
テーマ ・
主な意見
具体的な提案

3 . 環境・景観 / (3) 水とみどりのネットワーク
テーマ ・河川について
主な意見 残堀川などの水辺空間は雑草も多く、環境としてもよい状況ではない。
具体的な提案 残堀川、空堀川の支流として多くの水路がある。これらの水辺環境を守りながら親しめるような親水空間として整備する。 残堀川にホタルが飛ぶ姿がみたい。

3. 環境・景観 / (3) 水とみどりのネットワーク	
テーマ	・ 市民も協働でおこなうみどりのネットワークづくり
主な意見	みどりや花などは住宅の中などにもみられるが、統一感がないように感じている。
具体的な提案	<p>地区別に生け垣として活用する樹木や花(サザンカのまち、シクラメンのまち等)を統一できるように市民に協力を求める。(生け垣の助成金制度を活用)</p> <p>並木のある町(道)をつくる。</p> <p>高木の街路樹の下部に低木の花や木を植える。(市民も協働)</p> <p>各地域ごとに四季折々の緑、花を植える運動を推進する。さらにネットワーク化することも視野に入れてはどうか。</p> <p>住宅や農地の道端に花を植え(プランター)連続することにより魅力ある生活道路を創出する(花の咲くみち)</p>
テーマ	・
主な意見	
具体的な提案	

3. 環境・景観 / (4) 都市景観	
テーマ	・ 景観づくりへの啓発
主な意見	
具体的な提案	<p>良い景観の建物やみどり、生け垣などを表彰し、より良い景観づくりへの啓発活動を目的とし、景観デザイン賞を創設する。(都市景観、緑地景観など)</p>
テーマ	・ 景観の保全
主な意見	<p>武蔵村山市には高層建築は必要ないのではないかと。高層建築がないのが武蔵村山らしさではないかと。</p>
具体的な提案	<p>良好な都市景観を保全していくために、地区計画制度などを積極的に活用する。</p>

3. 環境・景観 / (5) ごみ処理とリサイクル	
テーマ	ごみの活用について
主な意見	
具体的な提案	ごみゼロ運動の推進をする。家庭ゴミを減量していく。 「ごみは資源」として意識を啓発していく。
テーマ	
主な意見	
具体的な提案	

3. 環境・景観 / (6) 公害対策と環境美化	
テーマ	モラルの向上について
主な意見	
具体的な提案	不法投棄の防止をはかっていく。パトロールを徹底する
テーマ	
主な意見	
具体的な提案	

4 . 都市基盤 / (1) 道路・交通
テーマ ・歩道の安全対策
<p>主な意見</p> <p>歩道の高低差により、通行の妨げになっているところがある。(車椅子や自転車など) 人によっては転んでしまう。(高齢者や子どもなど)</p>
<p>具体的な提案</p> <p>車椅子やベビーカーなどの通行の妨げになる、電柱や標識、カーブミラー等を移動し、安全に歩ける歩道を確保する。 歩道が狭く、車道との高低差が大きいことによる、車道側への転倒の危険性の高い区間の改善。 幅員が狭く交通量の多い通り(例:大南のスーパーさえき~湖南処理場など)の歩行者の安全の確保。 見通しの悪い交差点の解消や、小学校周辺の通学路の安全確保をしていく。 道路の凸凹をなくす為に、道路のバリアフリー化を推進する。</p>
テーマ ・歩車の共存について
<p>主な意見</p>
<p>具体的な提案</p> <p>病院、雷塚図書館、公民館、雷塚公園、商店街、スーパーがある通りで、人や車が多く通行する道路であるため、歩行者、自転車、自動車が共存できる魅力あるみちとして、コミュニティ道路として整備をする。((仮称)らいづかふれあいロード:医療センター~団地いなげやまでの区間)</p>
テーマ ・自転車利用の活用について
<p>主な意見</p> <p>野山北自転車道について、広く周知していく必要があるのではないかと。 青梅街道など、自転車で通行するには危険な道路もある。 自転車については、健康等の視点からも活用できるのではないかと。</p>
<p>具体的な提案</p> <p>残堀川沿いの自転車道をネットワークとして活用していく 既存の自転車道を軸に自転車走行帯の確保(ペイントなど)による安全に走行できる自転車ネットワークを形成していく。((仮称)むらやまりんりんロード)</p>
テーマ ・循環バスについて
<p>主な意見</p> <p>市民ニーズにあってないように感じている。(西部の方面から市役所間、西部方面から市総合センター間などの区間)</p>
<p>具体的な提案</p> <p>循環バスの運行ルートについては、市民ニーズにあわせて見直しをおこなう。</p>

4 . 都市基盤 / (1) 道路・交通
テーマ ・
主な意見
具体的な提案

4 . 都市基盤 / (2) 公園・緑地
テーマ ・市民が楽しめる公園づくり
主な意見 狭山丘陵など大きな緑地はあるが、歩ける場所（約 250m 圏）の公園については充実しているのか。
具体的な提案 親子で気軽に利用できる公園、緑地を整備する。（簡単に歩ける範囲内） 公園整備等による更新の際には、計画段階から市民が関わり、「市民が利用しやすい・楽しめる公園」について一緒になって考えていくことが必要である。 近所に利用できる公園を目指し、公園利用の不便地域をなくしていくことが必要ではないか。（大規模な公園ではなく、近所の公園単位で）
テーマ ・スポット緑地の整備
主な意見
具体的な提案 自転車ロードや散歩道の休憩場所としても活用できるような、ポケットパークを整備する（みどりのネットワーク化も視野にいれる）
テーマ ・
主な意見
具体的な提案

4 . 都市基盤 / (3) 住宅・宅地	
テーマ ・指導の徹底	
主な意見	
具体的な提案 宅地開発指導の徹底により、道路幅員の確保などに努める。 まちづくり条例による、計画的な宅地化を誘導していく。	
テーマ ・武蔵村山らしい住宅について	
主な意見	
具体的な提案 年齢、職業、所得の状況などに拘らず、いろいろな人達が交流をしながら同じ地域で暮らしていけるような環境を整備する（ソーシャルミックス）。 多世代が住めるような住宅環境をつくっていく。 緑を核とした住宅の形成（菜園付き住宅、共同菜園付き住宅など）	
テーマ ・	
主な意見	
具体的な提案	

4 . 都市基盤 / (4) 上下水道	
テーマ ・	
主な意見	
具体的な提案	



次回の検討項目

5 . 防災・安全 / (1) 防災対策
テーマ・
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>
テーマ・
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>

5 . 防災・安全 / (2) 消防・救急体制
テーマ・
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>
テーマ・
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>

5 . 防災・安全 / (3) 防犯対策	
テーマ	・ 明るいまちづくり
主な意見	
具体的な提案	街路灯や防犯灯だけでなく、各住戸の門灯を灯火させることにより、不審者の侵入や不法投棄を抑制する。
テーマ	・
主な意見	
具体的な提案	

5 . 防災・安全 / (4) 交通安全対策	
テーマ	・
主な意見	
具体的な提案	
テーマ	・
主な意見	
具体的な提案	

5 . 防災・安全 / (5) 消費者生活の安全

テーマ・

主な意見

具体的な提案

テーマ・

主な意見

具体的な提案

- B (福祉・教育・文化部会) グループ -

- 出席者 : 加藤委員(部会長代理)・井山委員・堀田委員・細川委員
 ・長田委員・島田委員
- 検討内容 : 6. 保健 (1) 健康づくり / (2) 保健・医療制度
 : 7. 福祉 (1) 地域福祉 / (2) 高齢者福祉 / (3) 障害者福祉
 (4) 子ども家庭福祉 / (5) 社会福祉制度
 : 8. 教育・文化 (1) 生涯学習 / (2) 就業前教育 / (3) 学校教育
 (4) 社会教育 / (5) スポーツ・レクリエーション
 (6) 市民文化の創造 / (7) 伝統文化・文化財

6. 保健・医療 / (1) 健康づくり

テーマ・保養施設の広報活動

主な意見

市民保養施設等は良く利用している体育協会等では姉妹都市の栄村等へは、数十人単位で訪れ、歓迎ムードがあり、親切に迎えられている。
 特に補助があるので、良い制度である。

具体的な提案

栄村の良いところを具体的に広報などで宣伝する。

テーマ・運動施設の充実

主な意見

室内プール(競技用)を増やしたい。

具体的な提案

室内プールの整備

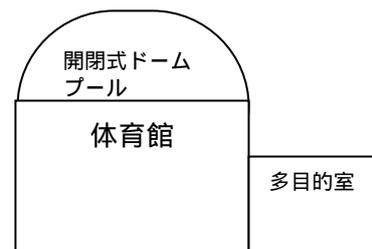
テーマ・地域の健康増進拠点づくり

主な意見

小学校などの体育館やプールの老朽化による建て直し時期にあわせて、地域の健康増進施設を兼ねた施設のリニューアルを図る。

具体的な提案

地域の健康増進センターの整備
 体育館や多目的室は地域住民の健康増進や学習の場として開放し、管理は運営協議会を組織し、自主管理の体制をつくる。
 夏季は屋根を開放し屋外型とし、冬季は室内型となる開閉式ドーム型のプール



6 . 保健・医療 / (2) 保健医療制度	
テーマ	・ 病院の駐車場について
主な意見	<p>病院に駐車場が少なく、いつも満車状態である。 コミュニティバス西ルートがルート変更になり、病院を通らなくなって不便になった。 大和病院の駐車場は有料で村山病院の駐車場は無料で、病院間のバスが無料で運行している ので、それらを利用している。</p>
具体的な提案	<p>イオンモールの駐車場は平日には空きがある、病院と共有化等による有効利用を検討する。</p>
テーマ	・ 医療制度について
主な意見	<p>政策の評価の中で、「妊婦健康診査の充実」とあるが、診療代が無料になると聞いたが 本市ではどのように考えているのか。 今年度から妊婦健康診査が合計 14 回無料となる。</p>
具体的な提案	

7 . 福祉 / (1) 地域福祉	
テーマ	・ 専門家の充実
主な意見	<p>福祉士の養成専門施設を増やす</p>
具体的な提案	
テーマ	・
主な意見	
具体的な提案	

7. 福祉 / (2) 高齢者福祉
テーマ ・高齢化・一人親について
主な意見 村山団地の高齢化が問題 特に村山団地にはひとり親や外国人が多く、それらの福祉はどうなっているのか。
具体的な提案
テーマ ・高齢者への医療制度の充実
主な意見 高齢者の保健・医療費の無料化 高齢者70歳以上の福祉について 高齢者医療制度について
具体的な提案 高齢者にわかりやすい説明案内等をやさしく伝える努力

7. 福祉 / (3) 障害者福祉
テーマ ・障害者への理解と場の提供
主な意見 障害者の自立の場が少ない 働ける場があっても賃金が安い
提案内容 障害者のできる範囲を理解し、働ける場の提供
テーマ ・
主な意見
提案内容

7. 福祉 / (4) 子ども家庭福祉
テーマ ・子どもの放課後について
<p>主な意見</p> <p>村山団地は3つの学区で構成されている。団地の建替え等で住む場所が変わり、学区が変わる等がある。</p> <p>事例として、小平市では小学生にICチップが組み込まれた物を持って、親が携帯等で子どもの行動等の情報を受けることができるシステムがある。</p> <p>学童クラブは、小学校3年までを対象に有料で午後6時まで預かって貰える。</p> <p>放課後教室は、学校の空き教室を借りて、子供達を預かるボランティアの方が面倒を見ている組織</p> <p>学童クラブや放課後教室等から帰宅時、特に冬の時期が心配である。</p> <p>学童クラブは現在10の施設があり、500名が登録しているが、空きが無く、待っている方が多くいる。</p>
<p>具体的な提案</p> <p>高齢化が進行する中、高齢者を利用して、帰宅時の迎えなどが、できるようなシステムづくりが必要である。</p> <p>新しい住人が自治会に加入してくれない、加入してもらえばコミュニケーションが取れるようになり、村山団地等での孤独死等が減ってくるのではないか。</p>
テーマ ・
主な意見
具体的な提案

7. 福祉 / (5) 社会保障制度
テーマ
主な意見
具体的な提案
テーマ ・
主な意見
具体的な提案

8 . 教育・文化 / 教育全般	
テーマ ・ しつけ	
主な意見 新生児の時は相談にくるが、2～3才児に対する教育やしつけ等、相談できる場や相手が不足している。 未熟な父親・母親向けの子ども教育の充実が必要である。 特に、親の低学年のしつけの仕方等、親の研修する場や相談する相手が不足している。 学校の教育より、家庭教育(しつけ)の問題が大切である。	
具体的な提案 子育てセンター(相談等)等を充実させる。 保健婦・民生委員さんたちのサポート活動 世代を交えての懇談の場が必要	
テーマ ・ 食育の充実	
主な意見 始業前の家庭で「朝食」を必ず取らせて登校させる。 地元の食材での食育が大切(体験農園等)	
具体的な提案 子どもたちへの体験農園等の高齢者ボランティア(給食センター含む)の参加等、世代を交えたサポートづくり 子ども農園で造った作物を給食で食べさせることで、食育を充実させ、好き嫌いを無くす。	
テーマ ・ 教育の再構築	
主な意見	
具体的な提案 学校教育、社会教育活動、生涯学習を一体化した教育政策を再構築する	

8 . 教育・文化 / (1) 生涯教育
テーマ ・図書館の活用
<p>主な意見</p> <p>図書館は、児童・生徒の学習・研究・読書のみならず、社会教育、生涯学習の場として、市民全体に輪を広げる。</p>
<p>具体的な提案</p> <p>図書館の開館時間を最低7時まで延長する。</p>
テーマ ・
<p>主な意見</p>
<p>具体的な提案</p>

8 . 教育・文化 / (2) 就学前教育
テーマ ・地域のニーズに合った、保育園や子ども学園等の充実
<p>主な意見</p> <p>保育園待ちの子どもが多い、半年待ち等も見られる。 就学前の教育としつけが大切</p>
<p>具体的な提案</p> <p>「保育園」や「認定こども園」の整備(大南地区へ)</p>
テーマ ・
<p>主な意見</p>
<p>具体的な提案</p>

8 . 教育・文化 / (3) 学校教育
テーマ ・教育体制
<p>主な意見</p> <p>学力・体力低下が著しい。 不登校の児童・生徒へのフォローについて テレビ、ゲームの画面を見ることが多い、もっと会話、本を読ませる等が必要</p>
<p>具体的な提案</p> <p>1 学級の人数が多いため 3 0 人学級へ移行 低学年は担任 2 名制(副担任)制度 1 年間の授業時間を増やす(私学では土曜日も授業を行っている)</p>
テーマ ・専門家の充実
<p>主な意見</p> <p>文化部や体育部のクラブ活動を活発に 泳げない子どもが増えている。</p>
<p>具体的な提案</p> <p>小学校の体育指導で外部指導者の導入 体育専門の先生等のプール指導を行う。</p>
テーマ ・武蔵村山市を特徴づける教育の戦略的な目標
<p>主な意見</p> <p>小・中学校におけるメイン研究テーマを最低 5 年間「基礎学力の向上」(国語・算数等) 他のテーマをあわせて取り上げるにしても、児童・生徒・教師の負担が過大にならない ように推進する。</p>
<p>具体的な提案</p> <p>長期的に「全市小中一貫校化」</p>
テーマ ・小学校教育環境整備(ハード面)
<p>主な意見</p> <p>特別教室(家庭教室)はテーブルしかなく、料理実習等、準備に時間や手間がかかるため、 コンロ(IH 型)や水道の設備向上を図る。 各小学校に会議などができる多目的ルームを設置する。 冷房はなく毎年暑くなっており、夏季休暇は必要なくても、6 月下旬と 9 月中は必要で 熱中症もでるので必要である。 校庭の芝生化は、市内でも順次整備されていく。しかし、校庭は地域に開放しており、 野球チームやサッカーチームの利用面から、全面芝生化ではなく、地域住民や関係団 体と協議し計画していくことが必要である。</p>
<p>具体的な提案</p> <p>小学校の整備の充実</p>

テーマ・ 小学校教育学力等向上(ソフト面)

主な意見

少人数制専門クラスの拡大

現在、算数の授業は個々の能力にあわせて少人数による授業を行っているが、今後は国語力の向上を図るため、専門クラスの拡大が必要である。

低学年向けのチームティーチング(1年生対応専門家による支援)

小学校入学時、子供たちはまだ小学校の環境や授業にとまどいが多く、先生1人にかかる負担も多く、児童全員に指導を徹底しにくい。このため、入学後6ヶ月間は、保育士や幼稚園教諭の資格を持つ方を補助指導員として雇用し、児童教育面から担任を支援するチームティーチングを導入していく。後期6ヶ月、補助指導員は、自閉症、注意欠陥、多動性障害など軽度精神障害の児童をマンツーマンで支援する。

家庭学習の徹底

学校の授業だけで学力を向上させることは難しい。このため、家庭における学習機会の必要性と徹底を保護者に理解、協力を促すことが必要である。

自己管理能力の向上

小学生時代は、自己管理能力や生活習慣を身につける大事な過渡期であるため、家庭のしつけを徹底するとともに、社会においてやっていいこと、悪いことの判断ができる教育プログラムを検討していく。そのためには、地域の祭りや様々な行事などを通じて、多種多様なコミュニケーション機会を増やしていくことも重要となっている。

家庭における一家団らん

最低でも週1回は家族全員で食事する。親も子も同じ時間、空間で会話しながら食事することは家庭の原点と考える。

具体的な提案

IC タグを活用した児童の安心安全確保システムの導入

児童の行き帰りの通学時間情報を保護者に通知する IC タグの導入を図る。児童が校門を通過する時間を保護者の携帯電話にメールで知らせることができるシステムの導入。

テーマ・

主な意見

具体的な提案

8 . 教育・文化 / (4) 社会教育	
テーマ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	
テーマ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	

8 . 教育・文化 / (5) スポーツ・レクリエーション	
テーマ・	
<u>主な意見</u>	室内プール(競技用)を増やしたい。
<u>具体的な提案</u>	室内プールの整備
テーマ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	

8 . 教育・文化 / (6) 市民文化の創造	
テーマ	
主な意見	
具体的な提案	
テーマ・	
主な意見	
具体的な提案	

8 . 教育・文化 / (7) 伝統文化・文化財	
テーマ	
主な意見	
具体的な提案	
テーマ・	
主な意見	
具体的な提案	

次回の検討項目

9. 交流 / (1) コミュニティ活動
テーマ
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>
テーマ・
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>

9. 交流 / (2) 交流事業
テーマ
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>
テーマ・
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>

9 . 交流 / (3) 人権擁護	
テーマ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	
テーマ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	

9 . 交流 / (4) 男女共同参画	
テーマ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	
テーマ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	